

1956

歴史 東秩父村の *History*

- ・1956（昭和31）年8月1日：大河原村、槻川村が合併し東秩父村が誕生
- ・1961（昭和36）年4月1日：城山保育園開設
- ・1962（昭和37）年10月：第1回村民体育大会を開催
- ・1970（昭和45）年8月8日：東秩父村役場新庁舎竣工
- ・1975（昭和50）年4月8日：東秩父中学校開校
- ・1979（昭和54）年3月24日：西小学校校舎竣工
- ・1982（昭和57）年3月10日：東小学校校舎竣工
- ・1986（昭和61）年9月6日：第1回和紙の里文化フェスティバルを開催
- ・1987（昭和62）年6月30日：細川紙すき家屋の復原完了
- ・1988（昭和63）年4月1日：保健センター開所
- ・1989（平成元）年：フランス共和国アンベール市と姉妹都市提携を締結
- ・1991（平成3）年5月：和紙の里完成
- ・2000（平成12）年7月：ふれあい広場完成
- ・2007（平成19）年3月1日：イーグルバスが小川町駅～皆谷・白石車庫間の路線を引継ぎ、運行を開始

- ・2009（平成21）年4月1日：子育て支援センターを城山保育園内に設置
- ・2010（平成22）年10月10日：マスコットキャラクター「わしのちゃん」誕生
- ・2013（平成25）年4月：東小学校・西小学校が合併し槻川小学校開校
- ・2014（平成26）年11月27日：「和紙：日本の手漉和紙技術」（細川紙）がユネスコ（国連教育科学文化機関）無形文化遺産に登録
- ・2016（平成28）年10月1日：村営バス全線廃止、イーグルバスが路線を引き継ぎ、運行を開始
- ・2016（平成28）年10月7日：和紙の里が「道の駅和紙の里ひがしちちぶ」として「道の駅」に登録される
- ・2016（平成28）年10月30日：東秩父村合併60周年記念式典、東秩父村和紙の里リニューアル式典
- ・2017（平成29）年7月1日：11月27日を「東秩父村手漉き和紙の日」と定める
- ・2019（令和元）年6月1日：東秩父村移住体験住宅「MuLife」運用開始
- ・2020（令和2）年2月：千葉県長生村と友好都市協定締結

2026

村のはじまりは1956（昭和31）年、大河原村と槻川村が合併し、東秩父村となりました。現在では埼玉県唯一の村として豊かな自然とともに歩みを重ねています。